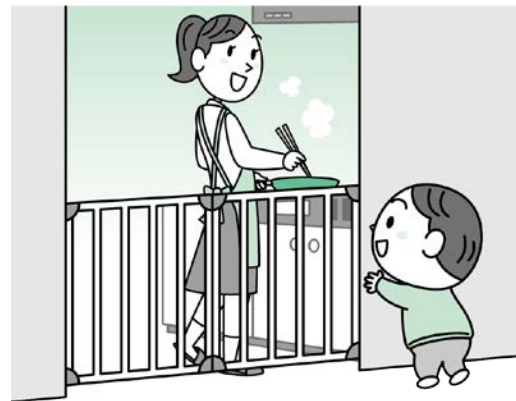


## ● 子どもをグリルに近づけない

使用後でもしばらくは、グリル窓が高温です

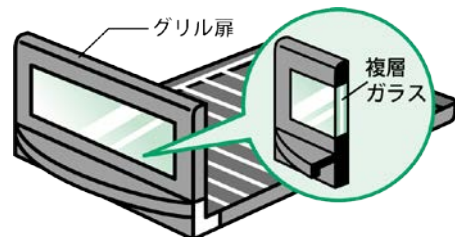
今回のテストでは、使用中はグリル窓が最高で約150℃になり、使用後も15分程度は50℃以上となっていました。

歩き始めの好奇心旺盛な子どもが触れないように、キッチンに侵入防止用の柵を利用するなどしましょう。危険性の高い時期にはグリルを使用しないのも一手です。



## ● グリル扉の温度を抑制できる商品の検討も

グリル扉の高温を抑制できる商品・別売品が提供されている商品もあります



テストで使用した高温抑制扉では、通常の扉より最高温度を約30℃低く抑えられました。使い方によってはやけどをする温度になりますが、やけどの重症化のリスクを軽減できると考えられます。

## ● 大人と比べて低い温度でもやけどするおそれ

乳幼児は応答が遅く皮膚が薄いため、大人に比べて低い温度でも深いやけどに至る危険性があります。

## ● 触れた場合は、すぐにきれいな流水で冷却

水道水などのきれいな流水による冷却と洗浄が大切です。やけどの進行を防ぎ、痛みを抑えるとともに、やけどをした部分の汚れも洗い落とすことができます。

水疱があれば破らないようにし、冷却後は清潔なガーゼやタオルなどを当てて医療機関を受診しましょう。



本内容の詳細は、独立行政法人  
国民生活センター公式サイトに  
掲載しています。

<http://www.kokusen.go.jp/>

くらしの危険

最新号やバックナンバーは  
こちらからご覧いただけます。

公式サイト「くらしの危険」コーナー

<http://www.kokusen.go.jp/kiken/index.html>



●「くらしの危険」は、全国の消費生活センター、医療機関等から収集した情報をもとに、被害や事故の未然防止・拡大防止のために作られています。●特定の商品・サービス等を推奨するものではありません。●商品やサービス、設備によって起きた事故の情報を最寄りの消費生活センターにお寄せください。●無断転載はお断りいたします。



独立行政法人

国民生活センター

〒252-0229 神奈川県相模原市中央区弥栄3-1-1 TEL: 042-758-3165 ● 2018年 1月発行

イラスト：川崎 敏郎

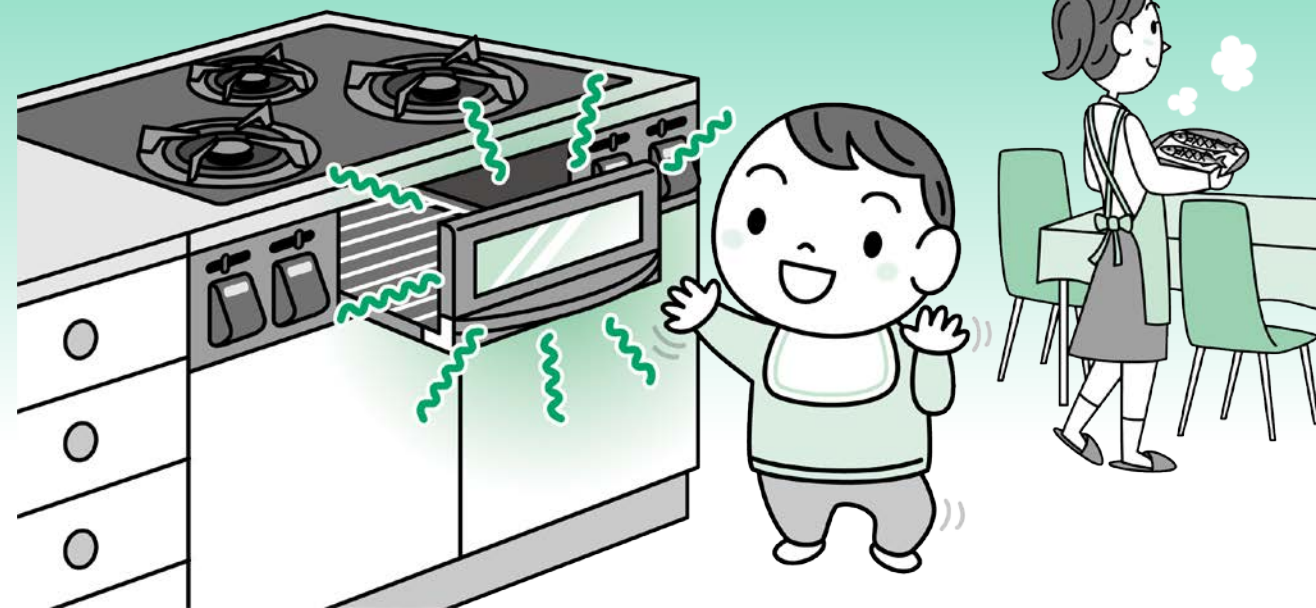
# くらしの危険

Number

341

## こんろのグリル窓は高温！

- 歩き始めの1歳前後 手指のやけどに注意 -

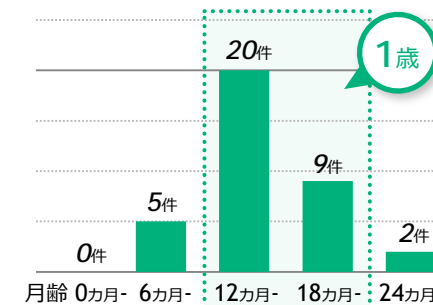


1歳前後の子どもがグリル付こんろ※1のガラス窓などに触れてやけどを負う事故が、医療機関ネットワーク※2に36件※3報告されています。

この時期の身長はグリルの高さと同じくらいなので簡単に手が届きます。また、つかまり立ちから上手に歩行できるようになり行動範囲が広がる時期とも重なります。

グリル窓は使用中だけでなく使用後もしばらくは高温ですので、やけどしないよう注意が必要です。事故を予防する製品選び・環境作りを心がけましょう。

今日も成長中！



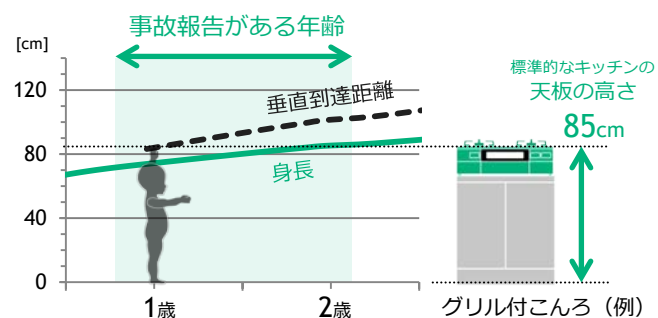
▲ 月齢別事故報告件数 (n=36)

※1: ガスこんろやIHクッキングヒーターの本体にグリル、グリドル、オープン等が組み込まれた複合形の機器。

※2: 消費者庁と国民生活センターとの共同事業で、消費生活において生命または身体に被害が生じた事故に遭い、参画医療機関を受診したことによる事故情報を収集するもので、2010年12月から運用を開始。

※3: 2010年12月以降、2017年8月31日までの伝送分。グリルでのやけど事例39件のうち、3件が大人、36件が月齢8~25カ月児。

## グリルに簡単に手が届く



キッチンの天板の高さは約85cmなので、**グリル窓は70~80cm**程度の高さです。これは事故報告のある1歳前後の子どもの**身長と同じ**で、簡単に手が届きます。



### 1歳児がこんろに手を伸ばす様子

手を伸ばしたところ、天板まで手が届きました。この時期はスイッチなどに興味を示す時期としても知られています。



## こんな事故が起きています

※医療機関ネットワークに寄せられたグリルでの子どものやけど36事例より (2010年12月以降、2017年8月31日までの伝送分)

### ケース 1

グリルで魚を焼いているとき、子どもが**つかまり立ち**をして、グリルの側面に手をついてしまった。グリルまで手が届くとは思わなかった。

(受診年月 2014年6月、10カ月・男児)

### ケース 3

子どもが**伝い歩き**でキッチンに入って来て、調理中の魚焼きグリルのガラス面を左手で触ってしまった。受傷後すぐ流水で冷やそうとしたが、**嫌がってあまりあたっていなかった**。普段は進入防止用の柵をしていて、子どもがキッチンに入らないよう気をつけていたが、このときは柵を閉めるのを忘れてしまった。

(受診年月 2011年10月、1歳2カ月・男児)

### ケース 2

魚焼きグリルのガラス面に触って左人さし指から小指をやけどした。グリルは火を消した後だったが、**余熱が残っていた**。受傷時に泣いたため気づいた。その後、水道水で洗浄冷却した。

(受診年月 2016年1月、1歳1カ月・女児)

### ケース 4

グリルで魚を焼いていた。子どもが近づいてきて足元によってきた。言葉で注意したが、**グリルに触ってしまった**ようです。右人さし指から小指をやけどした。

(受診年月 2012年6月、1歳8カ月・女児)

## 大人よりやけどになりやすい

子どもは大人より**皮膚が薄い**ため、**深いやけど**になりやすく、**短い時間でやけど**に至ります。

また、非常に幼い子どもは、逃げる反射が十分に早くないため**長い時間接触**するおそれがあります。

大人と比べ**低い温度**でもやけどします。

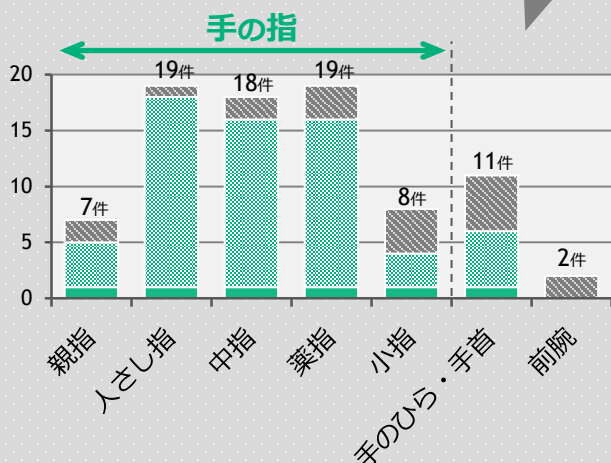
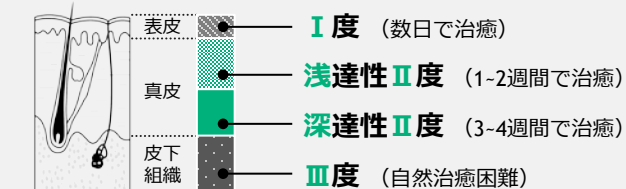
### 人の皮膚が高温表面に触れた場合のやけどに影響するおもな要素※

- **表面温度** 温度が高いほど **危**
- **表面の材料** 熱が伝わりやすいほど (金属 > ガラス > プラスチック) **危**
- **表面の構造** つるつるなほど **危**
- **接触時間** 長く触っているほど **危**
- **接触する人の感度** 幼い子どもほど **危**

※ 参考 ISO 13732-1:2006

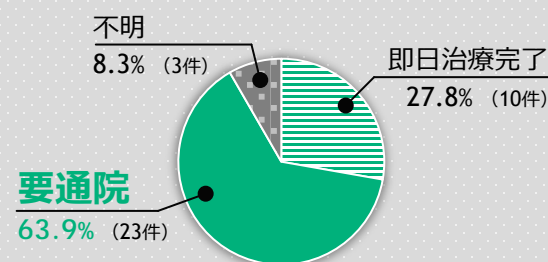
## 手指のⅡ度のやけどが多い

### やけどの深さと程度



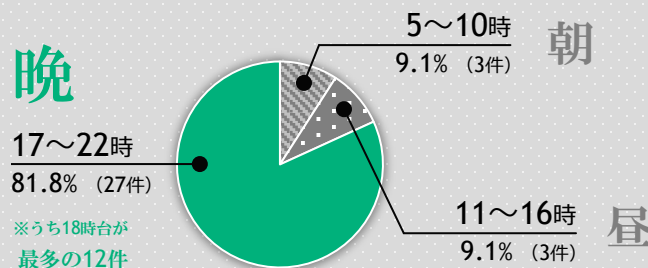
▲ やけどを負った部位と程度 (n=36, 複数選択あり)

## 6割以上で通院治療が必要



### ▲ 治療の必要性 (n=36)

## 晩ごはん時間帯の事故が多い



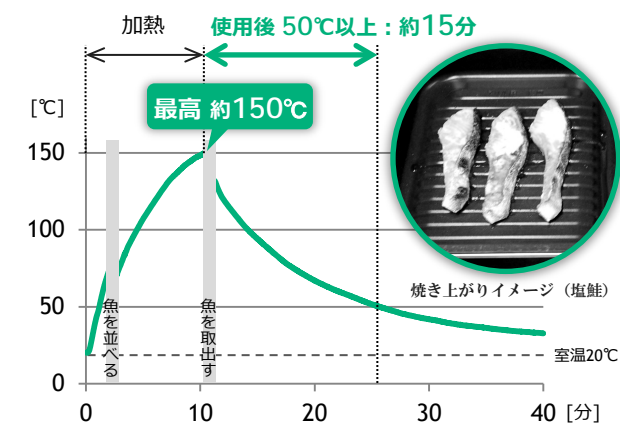
▲ 事故発生時間帯 (n=33, 発生時刻が判明している事例)

## グリル窓は最高約150℃ 使用後でも約15分は50℃以上

ガスこんろ2商品とIHクッキングヒーター1商品を対象として、切身を焼いた場合のグリル窓の表面温度を測定しました。

ガスこんろでは**最高で約150℃**、IHクッキングヒーターでは84℃まで上昇しました。また、すべての商品で**使用後15分程度は50℃以上**でした。

### ▼ グリル窓の表面温度の変化 (例)



●使用機器: 水なし両面焼きのビルトイン・ガスこんろ ●調理物: 塩鮭の切身3枚 (計 約200g) ●調理方法: 取扱説明書に従う ●室温: 20℃ ●湿度: 65% ●測定: 接触温度計

### 過熱テストでは最高200℃近くに (参考)

過熱防止センサー等の安全装置が働くまで加熱するテストを行ったところ、ガスこんろではグリル窓の表面温度が**最高で200℃**近くに達しました。



## 高温抑制扉

一部の商品には、グリル扉の高温を抑制するために、**複層ガラス**や表面を樹脂で覆ったグリル扉を、採用または別売品として提供しているものがあります。

今回のテストでは、通常の扉に比べて最高温度を約30℃低減、50℃以上の時間も短くなることが確認されました。

※ 温度は抑制できますが、使用方法によってはやけどをする温度まで上昇します。